

大雪による災害に対して17項目の要求を申し入れ！

2月28日、名古屋地本は2月の雪害と塩尻駅での列車滑走などについて申し入れを行いました。2月に発生した降雪で列車の起動不能、ポイント不転換、車軸の凍結、倒木・倒竹などお客様に大変な迷惑をかけるとともに、情報の不足や駅要員がいないことや現地では混乱が続きました。会社が進めてきた駅などの効率化により、降雪が激しかった地区では要員がいないことでさらに遅れが増していきました。

何が問題を悪化させたのか？

—誰が列車を運行させたのか—

東海旅客鉄道株式会社
東海鉄道事業本部
本部長 工藤 純生 殿

JR東海労名古屋地本申第9号
2014年2月28日

JR東海労働組合名古屋地方本部
執行委員長 山田 哲也

2月の豪雪による雪害等により発生した問題の申し入れについて

2月8日及び14日に降雪で起動不能、ポイント不転換、車軸の凍結、倒木・倒竹、ダイヤの乱れ、乗務員運用など多くの被害と問題が発生した。

下記のように申し入れるので早急に業務委員会を開催すること。

記

1. 2月8日及び14日の降雪による鉄道施設被害状況を明らかにすること。
2. 2月8日及び14日の降雪による列車運休数、大幅に途中駅で遅れた列車名及び遅延時分など運行状況を明らかにすること。
・
・
・
13. 途中駅で列車が1ノッチで起動しない原因として、耐雪ブレーキが使用されている、雪の抵抗により動かないなどの原因が考えられる。また、処置のために長時間停車することで踏切故障となり復帰扱いが必要となる。車軸凍結の原因と対策を明らかにすること。
14. 積雪により、黄線の内側がない駅、駅舎からホームまで除雪していない駅、編成両数分のホームの除雪がしていない駅など要員不足による雪の処理ができない事象が多く発生している。駅の無人化を進めた結果と考える。原因と今後の対策を明らかにすること。
15. 日頃、所定通勤経路にこだわっているにも拘わらず、列車が動かないため、自動車での通勤を指示された社員がいる。どの職場でそのような指示を出したのか明らかにすること。
16. 泊行路で睡眠時間が1～2時間しか取れなくて、翌日の昼過ぎの勤務終了まで乗務を続ける乗務員が多数発生した。原因を明らかにすることと今後は睡眠時間の取れない乗務員の交替手配を行うこと。
17. 駅職場においては、今回の雪害では、指令からの情報が少なかった。また、旅客指令に連絡がなかなか取れなかった。そのため、旅客案内ができず現場では大きな混乱が発生した。今後、指令と駅との連絡体制をどのように行うか対策を講じること。

以上

申第9号では17項目で申し入れを行いました。なぜ運休が早めに指示できなかったのか、雪による規制はなぜないのか、現地支援のために災害要請をなぜ行わなかったのか、想定外の降雪にも拘わらず想定内のマニュアルで対応した結果さらに事態を悪化させた問題、開通後雪の壁の中を列車を走行させ雪を崩しポイント不転換を何カ所も発生させているが、事態が予測できたにも拘わらず、なぜポイント付近に要員を配置せずに列車を発車させたのかなど多くの問題が発生しています。

東海労本部も3月10日に雪災害に対し申し入れを行いました。地本と本部は連携を密にして問題を整理し、二度、三度この様な事態にならないように、早急に業務委員会の開催を会社に求めています。